

マダニが媒介する新しい感染症

SFTS(重症熱性血小板減少症候群)



皮膚に口器を刺入する
タカサゴキララマダニ

早期発見、早期治療が大切！！

問1: SFTSってどんな病気？

2011年に初めて特定されたSFTSウイルスに感染する事によって引き起こされる病気で、6日～2週間の潜伏期を経て、**発熱、消化器症状**(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)をひき起こします。重症化すれば、死亡することもあります。

問2: どのように感染するの？

SFTSウイルスを保有しているマダニに刺咬されることにより感染します。マダニの中でも、病原体を保有しているマダニは極めてまれですが、発症すると重症化するので十分気をつけましょう。この病気を媒介するマダニは、ほぼ全国的に分布していることが分かってきました。

問3: どのように予防すればいいの？

マダニに刺咬されないことが重要です。草むらや山など、ダニが生息する場所に行く場合には、長袖・長ズボン・長靴、手袋、首にタオルを巻くなど、**肌の露出をできるだけ少なく**することが大切です。虫除けスプレーも一定の忌避効果が得られますが、他の防護手段と組み合わせてください。

屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか(特に脇の下、足の付け根、首、膝の裏、脇腹、頭髪部など)確認しましょう。

ペットなどの動物についていることもあるので気をつけましょう。

問4: もしマダニに刺されたらどうしたらいいの？

マダニ類の多くは、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日間吸血します。無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、**医療機関で処置**してもらってください。刺咬された後**1～2週間は、発熱、嘔気、下痢などに注意し、症状があれば直ちに医療機関を受診**してください。

朝夕に体温を測り、裏面の体温表に記入し、熱が出たら直ぐに医療機関へ。

徳島県医学・感染症専門員 馬原 文彦先生監修

徳島県保健福祉部健康増進課感染症・疾病対策室

ダニに刺されたら1週間くらい朝夕に熱を測りましょう

		姓名				体重				kg				
ダニに刺された 月 日	第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日	
	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕
体温														
	41													
	40													
	39													
	38													
37														
36														

SFTSを媒介するマダニ



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ



吸血すると3~15ミリ位に膨れる

(写真提供: 馬原アカリ医学研究所)